

阪急電鉄とOsaka Metroの
大阪・まち・再発見

2024年
3/16
(土)

ぶらりウォーク

約11キロ
一般向き
街歩き



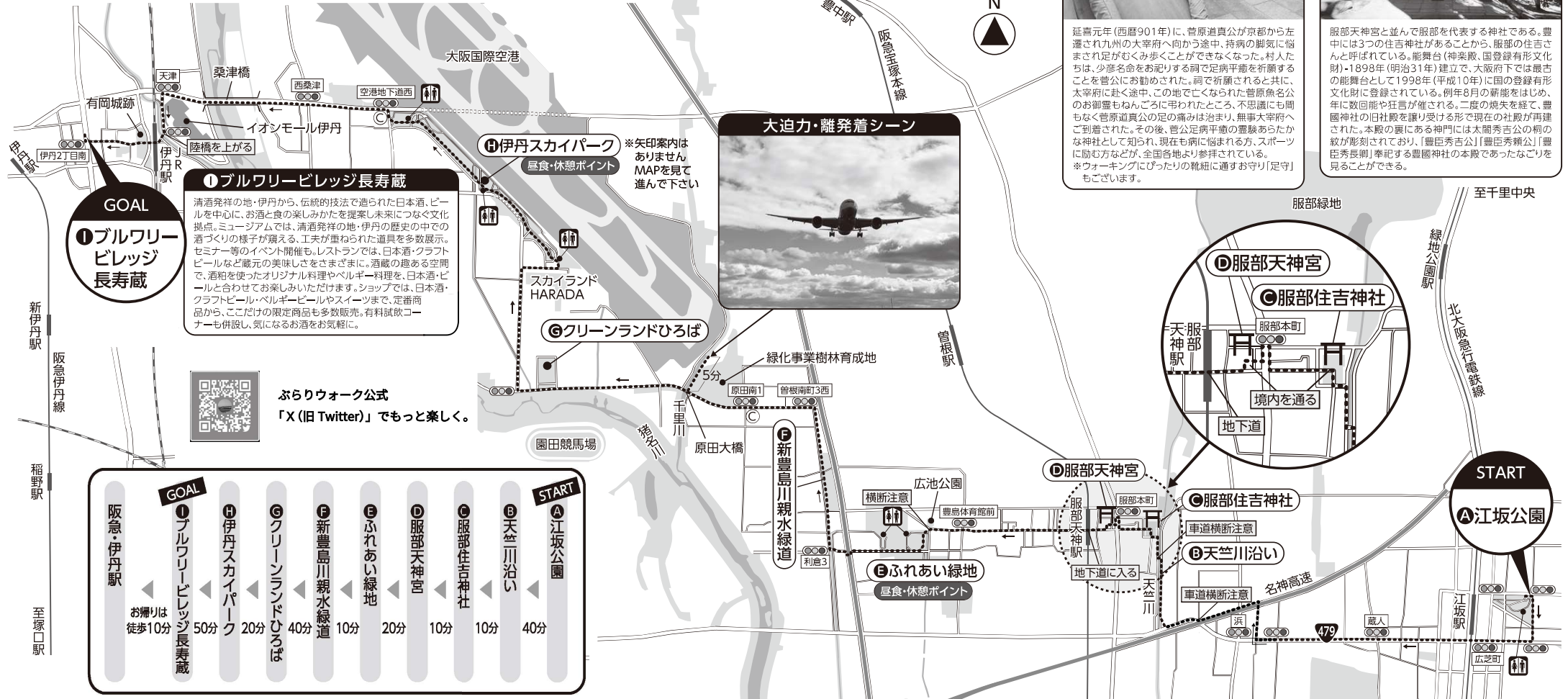
空港の街をぶらり歩く

足の神様 服部天神宮から伊丹スカイパーク・お酒の白雪コース

⚠️ ご注意

- このマップを使用して歩かれる場合は、自己責任でお楽しみください。
- 交通ルールを守りましょう。
- 神社、仏閣などの信仰の場所では、ルールを守ってご参拝ください。
- コースは工事等で通行できない場合があります。ご注意ください。
- 歩行喫煙やタバコのポイ捨てはやめましょう。
- ごみ・空き缶等は各自で持ち帰りましょう。
- 交通ルールを守りましょう。
- 施設等の閉館日・開館時間は各自でご確認ください。
- 建物等は、閉館日とは異なる場合がありますので、ご注意ください。

〈ウォーキングは、お互いに迷惑にならないようルールを守ってお楽しみください。〉



① ブルワリービレッジ長寿蔵

清酒発祥の地・伊丹から、伝統的技法で造られた日本酒、ビールを中心に、お酒と食の楽しみかたを提案し未来につながる文化拠点。ミュージアムでは、清酒発祥の地・伊丹の歴史の中での酒づくりの様子を窺える。工夫を重ねられた道具を多数展示。セミナー等のイベント開催も。レストランでは、日本酒・クラフトビールなど蔵元の美味しさをさまざまに、酒蔵の趣ある空間で、酒粕を使ったオリジナル料理やベルギー料理を、日本酒・ビールと合わせてお楽しみいただけます。ショップでは、日本酒・クラフトビール・ベルギービールやスイーツまで、定番商品から、ここだけの限定商品も多数販売。有料試飲コーナーも併設し、気になるお酒をお気軽に。

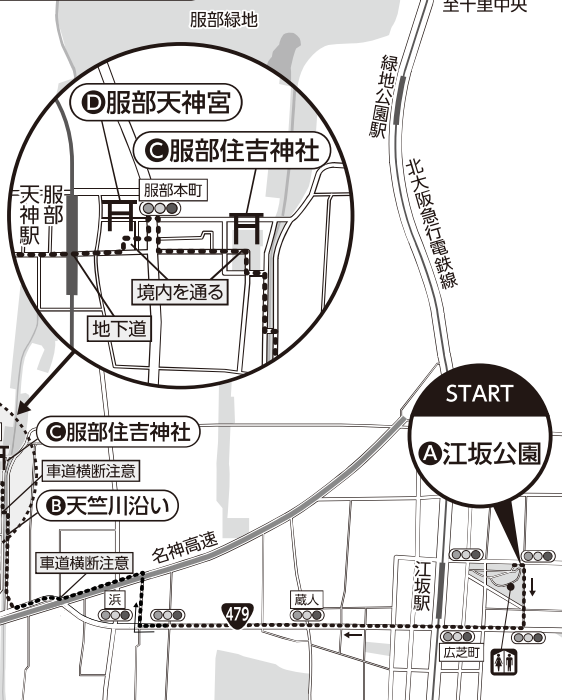


◎ 服部天神宮

延喜元年(西暦901年)に、菅原道真公が京都から左遷され九州の大宰府へ向かう途中、持病の脚氣に悩まされ足がむくみ歩くことができなくなった。村人たちは、少彦名命をお祀りする祠で足病平癒を祈願することを菅公にお勧めされた。祠で祈願されると共に、大宰府に赴く途中、この地で亡くなった菅原道真公のお御霊もねんごろに弔われたところ、不思議にも間もなく菅原道真公の足の痛みは治まり、無事大宰府へご到着された。その後、菅公足病平癒の霊験あらたかな神事として知られ、現在も病に悩まれる方、スポーツに励む方などが、全国各地より参拝されている。
*ウォーキングにぴったりの靴紐に通すお守り「足守」もございます。

◎ 服部住吉神社

服部天神宮と並んで服部を代表する神社である。豊中には3つの住吉神社があることから、服部の住吉さんと呼ばれている。能舞台(神楽殿。国登録有形文化財)・1893年(明治31年)建立で、大阪府下では最古の能舞台として1998年(平成10年)に国の登録有形文化財に登録されている。例年8月の新能をはじめ、年に数回能や狂言が催される。二度の焼失を経て、豊國神社の旧社殿を譲り受ける形で現在の社殿が再建された。本殿の裏にある神門には太閤秀吉公の腕の紋が彫刻されており、「豊臣秀吉公」「豊臣秀頼公」「豊臣秀長公」奉記する豊國神社の本殿であったなごりを見ることが出来る。



START	A	B	C	D	E	F	G	H	I	GOAL
江坂公園	天竺川治い	服部住吉神社	服部天神宮	ふれあい緑地	新豊島川親水緑道	グリーンランドひろば	伊丹スカイパーク	ブルワリービレッジ長寿蔵	伊丹スカイパーク	阪急・伊丹駅
40分	10分	10分	20分	10分	10分	40分	20分	50分	50分	お帰りは徒歩10分

ぶらりウォーク公式
「X(旧 Twitter)」でもっと楽しく。

コース概要

Osaka Metro 御堂筋線江坂駅が最寄りの江坂公園をスタートして国道479号線(内環状線)を西へ進み、浜交差点を越え天竺川を北へ、服部住吉神社へと進みます。服部住吉神社には大阪最古の能舞台が保存されている神社です。服部住吉神社から西へ少し進むと服部天神宮があります。服部天神宮は足の神様として地元やランナー達に信仰されています。次にふれあい緑地へと進みます。新豊島川親水緑道は、豊中市が市民の憩いとなる水辺環境づくりを進めるために整備した散策コースです。新豊島親水緑道を散策して千里川土手(伊丹空港沿い)に進みます。千里川土手は頭上を旅客機が通過するドラマの撮影にも使われる場所です。童心に返ってカメラやスマホで撮影に夢中となってしまいます。その後は伊丹スカイパークで滑走路の横から旅客機の離着陸を楽しんでください。お子様が遊べる遊具もあり、ご家族で楽しんでいただけたと思います。伊丹空港を後に西へと進みゴールを目指します。猪名川、有岡城跡を越えるゴールとなるブルワリービレッジ長寿蔵です。この辺りは良質な水に恵まれ、灘、池田とともに酒造りの町で、ブルワリービレッジの周辺には資料館もあり昔の酒造りの様子をご覧いただけます。

主催:阪急電鉄株式会社 共催:Osaka Metro
協力:小西酒造株式会社、ケアプロ株式会社